2013.03.29改定　冨松

**新枚方HPの作成基準**

■枚方トップページの基本設計

・フレーム構造を廃止する。→ SEO（Search Engine Optimization）対策OK、ブラウザにURL表示可。

・CSSレイアウトを採用する。→ アクセシビリティ（accessibility）の向上。

・CSSレイアウトは枚方トップページのほか、南支部だより、北支部だよりに採用する。

■htmlファイル名

・枚方トップページのファイル名はindex.htmlとする。

・枚方トップページを除く他のトップページはmutyu.html、sibumenu.html、furusato.html など内容を示すファイル名とする。← 複数のindex.htmlの存在による混乱をさけるため。

・ただし、くらわん会は従来通りのフレーム構造とし、そのトップファイル名はindex.htmlとする。

・トップ下の各フォルダには、原則としてダミーファイルindex.htm（3文字の拡張子に注意）を置く。

■CSSの利用

・「**外部CSSによる設定**」を積極的に利用する。ツールはHPBのCSSエディタやメモ帳などのエディタを使う。tophira.css、hira.css、photoframe.css など外部CSSは汎用化して委員で共有する。

・「**style要素による設定**」は原則使用しない。ただし、「外部スタイルシート」を特に補足したいときに限り使ってもよい。HPBのツールは「表示」～「スタイルシートマネージャ」が使える。

・「**要素にstyle属性で設定**」は原則使用しない。ただし、「外部スタイルシート」を特に補足したいときに限り使ってもよい。HPBでは要素を選択して「編集」～「スタイルの設定」が使える。

■テーブルレイアウトとタグ属性の使用

・枚方トップページ、南支部だより、北支部だよりを除く他のページのレイアウトは、基本的には今まで通りの作り方でよい。位置調整を視覚的に把握しやすいテーブルレイアウトの魅力は捨てがたい。

・文字の大きさ・色・太さなどのデザイン設定は、hira-m.cssなど外部cssの利用を基本とする。ただし、従来通りhtmlタグの属性での設定を可とする。修正保守も簡単にできる。

■html文書の構造化

・見出し「h1～h6」、段落「p」、改行「br」を意識して使用し、文書の構造化を心がける。HPBでは「Shift」+「Enter」で、<p> ～</p>で囲まれる段落となる。段落間には1行の空白行ができる。

・見出しh1～h6、ボールドb、強調strong は共に太字です。この違いを認識して使用すること。

■ページのタイトル

・Webページには必ずタイトルを付ける。古いページをコピーして作成するときには、必要に応じてタイトル名を変更する。新しいページを作るときは、タイトルを付け忘れないように。

・HPBでタイトルを付けるには、「編集」～「ページの属性」から設定する。「属性の変更」ボタンを利用してもよい。

・タイトル名はページ内容を適確に、かつ短い単語で表現したい。また、表示文字数を短くすることで横表示幅の短いタスクバーやIEのタブでの表示が見やすくなる。

**■**ターゲットの指定

・枚方南支部HP内に飛ぶ場合：target=”\_self” とする。HPBでは「同一ウィンドウ」に当たり、デフォルトでこうなる。現フレーム内にページ内容を入れ替えて表示し、ウィンドウは増えない。

・枚方南支部HP以外に飛ぶ場合、例えば松愛会の他支部HPや外部HP（枚方市役所HPなど）にリンクする場合：target=”\_blank” とする。HPBでは「新しいウィンドウ」に当たり、新しいウィンドウを開いてそこに表示する。リンク元のウィンドウはそのまま残り、ウィンドウは1つ増える。

・インラインフレームから親フレームで表示させたい場合：target="\_parent" とする。HPBでは「親ウィンドウ」に当たる。表示は親ウィンドウに戻り、ウィンドウは増えない。

■文字リンク

・文字リンクを分断させない。（単語をスペースで区切らない）

・クリックできる範囲を広くする。（長い文字列にリンクを貼る）

・リンクを修正するときは、一旦リンクをすべて削除（右クリック～リンクを削除）した後に、改めてリンクを設定する。（二重リンクにならないように注意する）

■フォルダ名・ファイル名

・フォルダ名とファイル名は半角小文字の英数字とする。特に、JPGなどの**拡張子**も小文字にする。

・半角スペースは避けて、－（ハイフン）や \_（アンダーバー）で区切る。

・ファイル名やフォルダ名に全角（日本語）は使わない。全角文字コードとサーバの制御コードがバッティングし、FTPでファイルの削除ができなくなることがある。

■文字入力の注意事項

・全角本文中の英字（大文字小文字ともに）および数字は、原則として半角とする。半角の英字および数字は、日本語（全角）と混在するとき全体のバランスがよい。

・HPBの「ページ編集」において、「段落改行」Shift+Enter（<p>タグ）と「段落内改行」Enter（<br>タグ）を、意識して使い分けること。（以降「段落内改行」を、単に「改行」と呼ぶ）

・文章の途中では、原則として「改行」しない。「改行」するときは「。」や「、」のところで行う。やむを得ず「改行」するときは、文字配列ができるだけ崩れない配慮をする。

・HPBの「ページ編集」で日本語入力するとき、文章の先頭文字に半角スペースは入力できない。一方、「htmlソース」編集のとき、半角と全角スペースのいずれも入力できるが、文章の先頭文字の半角スペースは無視される。HPBでこの設定は変更できるが、HP委員はデフォルトのままとする。

・htmlタグの属性による文字の大きさ指定は、原則「相対指定」（size=＋1、－1など）とする。文字の大きさの絶対指定は、できるだけ避ける。

・ユニバーサルデザインに配慮して、画像にalt属性（代替テキスト）を付ける。

・ローマ字の綴りは原則として**ヘボン式**とする。注意すべき綴りを次に記す。

し：shi、しゃ：sha、しゅ：shu、しょ：sho、じ：ji、じゃ：ja、じゅ：ju、じょ：jo

ち：chi、ちゃ：cha、ちゅ：chu、ちょ：cho、つ：tsu、ふ：fu、

・東京や京都はtokyoやkyotoとし、toukyouやkyoutoなどのように「u」は付けない。

■共有ファイルの保存

・hira-m.cssなどの共有ファイルはトップフォルダ（hirakata/）直下に、ロゴやback.gifなどの共有ファイルはその下のimageフォルダ（hirakata/ image/）に保存する。

・これらは各テーマのフォルダにも置く。例えば、hira-m.cssなどの共有ファイルはhirakata/mutyu/ に保存、ロゴやback.gifなどの共有ファイルはhirakata/mutyu/imageに保存する。

・HPBで画像リンクのあるhtmlファイルを保存するとき、「素材ファイルをコピーして保存」画面が現れる。このとき全画像ファイルを選択して、「保存場所にファイルをコピーする」のチェックを外して保存する。

■ホームページビルダー（HPB）の環境設定

・「ツール」～「オプション」～「一般」タブで、「ソースを自動整形」と「構文エラーを自動修正」の2つチェックを外す。さらに、構文エラー時の動作を「すべてのエラーで、修正ダイアログを開く」に指定する。（構文エラーのとき自動修正せず、エラー内容が表示されるようになる）

・「ファイル」タブで、「HTMLファイルの拡張子」を「html」と入力する。左側下方の「HTMLソースにGENERATORを組み込む」のチェックを外すと、HPBで生成した旨の不要なmeta情報を作らない。「保存オプション」の「バックアップファイルを作成する」のチェックを外すと、\*.bak ファイルを作らない。

・新ホームページでは、ファイルソースの１行目のDOCTYPEは次でなければならない。

<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN"

"http://www.w3.org/TR/html4/loose.dtd">

HPB12 以前のバージョンでは、「ファイル」タブで「DOCTYPEを出力する」 にチェックを入れ、その内容を上記の内容に書き換える。HPB13 以降のバージョンでは、「DOCTYPEを出力する」にチェックを入れるとその内容を選択できる。「詳細」ボタンから全ての項にをチェックする。

・「ソース編集」タブで、「表示設定」～「行数表示」にチェックすると、htmlソースに行数が表示されて、「htmlソース」編集に便利である。「出力文字」で「タグ」と「属性」を小文字に設定する。

・「編集」タブで、「表の属性」～「省略可能なTBODYを表示する」のチェックを外す。一般の枚方HPではTBODYが必要な表は存在しない。

■Preサーバへのファイルのアップ

・不要なファイルをアップ転送しない。

htmlファイルを編集した時にできるBAKファイル、VIXのカタログファイル(\_CATALOG.VIX)、Windowsが作るファイル(Thumbs.db) など。

・アップしたら必ずブラウザで確認する。

HPBで作成中の確認と、でき上がってアップしたらPreサーバで確認する。

・変更していないファイルを上書きアップしない。原則として、変更していないファイルを含むフォルダごとのアップはしない。

・パソコンとサーバのフォルダの位置関係を保ってアップする。それには、FileZillaの「同期ブラウザを切り替え」ボタンを利用すれば間違いが少ない。

■掲載写真の処理

・写真画像はサムネールを含めてJPEGにする。なお、JPEGは画像データ以外にhtmlには不要なデータが含まれているのでダイエット（JPGの付加情報の削除）する。なお、拡張子は小文字にする。

・GIFはイラスト、アニメーション、バックが透ける画像に使用する。写真をGIFにするとファイルのサイズが大きくなる割には画像が汚くなる。（GIFは色数が256色と少ない）

・拡大写真用の処理は、画像の明るさ、色調の調整、トリミングとリサイズ。画像がぼけている場合はアンシャープマスクをする。

・保存のとき画質をPhotoshop Elementsの「中」以下にして品位を落とさない。後で修正する可能性がある場合は最高画質で保存する。（高画質とは写真の圧縮率が低いこと、低画質とは圧縮率が高いことを意味する）

・サムネールに縮小後の画質は高品位で保存する。（一括変換の際に注意する）

・サムネール写真は、必ずアンシャープマスク（シャープ処理）をする。

■HpDataへの写真のアップ

・画像はJPEGにする。JPEGの拡張子（.jpg）は必ず小文字にする。

・画像ファイルは基本的に長方向で1600ピクセルにしてからアップする。小さ過ぎるとトリミングなどが困難になる。逆に、サーバの負担軽減のため、カメラの大きいデータのままのアップは避ける。

・この時点では、画像調整はあまりしない方がよい。また、ダイエットはしない。

・この時点では、アンシャープマスクは不要。（サイズを小さくしてから実施する）

以上